

磐梯山の五色沼について

2年 A.S.

僕が五色沼について調べてわかったことはたくさんありました。

銅沼など赤茶色に沼の色になっている理由は1 2 3年前の噴火によってもたらされた鉄、アルミニウムなどの金属イオンが大量にとけていて、沼の底には水酸化鉄を含んだ赤い泥が積もっているためです。ほかには水草などに付着したりして色が違って見えるところもあります。

赤茶色だけではなく青色や緑色にみえたりする理由はアロフェンが積もる量や太陽の反射、それに加えて水草、鉄分などによってさまざまな色に変化します。

一つの沼でも深泥沼では緑色と青色の間に鉄分がたまって赤くなっているところがあります。その原因は緑色の沼と青色の沼の水がぶつかりあってその対流で鉄分が真ん中にあつまるところからです。

もうひとつわかったことは五色沼のなかには魚や鳥が住めない沼と逆に棲める沼があることです。

五色沼のことだけではなくその周辺の環境、そして裏磐梯の自然のことも学ぶことができました。

ひとつめは五色沼のまわりや道のところどころにある巨大な石のことです。

たくさん落ちている理由は1 2 3年前の噴火によってたくさん降ってきたためです。

もう1つ学べることができたのは遠藤現夢のことについてです。遠藤現夢は1 2 3年前に噴火が起こり、すべての植物がなくなってしまっていた裏磐梯に植林を行い、10万本以上も植えました。ということから、裏磐梯に生えている木はどんなに大きくても樹齢は100年前後なんだそうです。

僕は遠藤現夢とその植えられた木にとってもおどろきました。

五色沼の環境問題についても学ぶことができました。それは外来植物のオオハンゴンソウが大繁殖してしまい、生態系が崩れてしまったり、1995年には、大勢の人が沼のすぐそばまで、踏み込んでしまったため、植物が枯れてしまい、土がむき出しになってしまう裸地化が起こり、雨が降るたびに泥土が沼にながれこんでしまうなどのことが起こっているということを知りました。



これは銅沼で
多量の鉄分が
しずんでいます。
岩についた鉄
分はついたま
ま乾いたもの
で以前はそこ
まで水があっ
たとおもわれ
ます。

毘沙門沼です。
ここはあまり酸
度はたかくあり
ません。
生物が生息して
います。

